

高取小だより

令和6年4月19日



三本桜

第3号

ふかく考える子 あたたかみのある子 がんばりのきく子
4月の目標：元気に返事をしよう

給食が始まりました

2～6年生は15日（月）から給食が始まりました。1年生は昨日から給食が始まりました。給食は、子どもたちにとって登校の楽しみの一つです。栄養教諭や調理員が子どもたちの成長を願って、エネルギー量や栄養のバランスを考え、旬の食材や地場産物を取り入れて作っています。また、安心安全な給食を提供できるように細心の注意をはらっています。学校では給食をおいしく食べるだけでなく、「食に関する指導」のきっかけにもしています。望ましい食習慣や実践力を身に付けるための教材としての役割もあります。ご家庭でも、ぜひ給食の話題に触れてみてください。



【2年1組】



【3年2組】



【4年3組】

カレンダーの活用を

高浜市では、幼稚園、保育園、小中学校、小中学校PTA連絡協議会、教育委員会、こども未来部が連携して、子どもたちが立派に育つよう、具体的に「育てていきたい子どもの姿」を決定しています。目標とするゴールを見据え、日々それに向かい、学校、家庭、地域が一体となって子どもたちの教育を進めています。

そのための手だてとして、先日、「高浜市が育てていきたい子どもの姿を周知するためのカレンダー」を配布させていただきました。このカレンダーに、予定や目標を書き込むなど、身近に置き普段から目にするすることで、育てていきたい姿に近づく意識を高めることをねらいとしています。このカレンダーを、日々目にする指針とし、子どもたちの成長の軌跡となるようにしていただくようお願いします。



【令和6年度のカレンダー】

子どもたちに失敗体験を

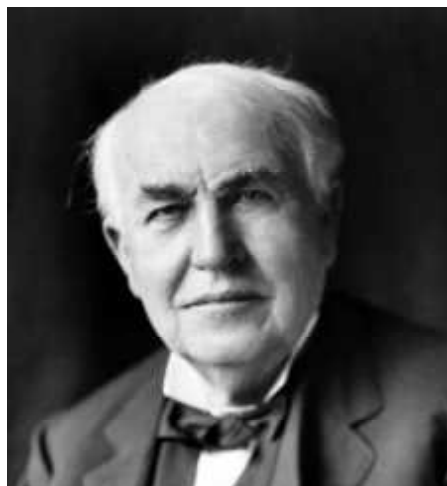
I am not discouraged, because every wrong attempt discarded is another step forward.

訳：私は決して失望などしない。なぜなら、どんな失敗も新たな一歩となるからだ。

これは、アメリカの発明家として知られるトーマス・エジソンの言葉です。エジソンは、生涯においておよそ1300もの発明を行い、数多くの特許を取得した発明王として世界的に知られています。

この言葉にはエジソンの失敗に対する考え方が色濃くあらわれています。エジソンの電球の発明の裏には約2000回の試行錯誤・失敗があります。つまりあきらめず目標に向かって取り組み続ける限り、その過程での失敗は成功への指針であり、あきらめた瞬間が本当の失敗なのです。失敗なくして成功はない、そう考えるからこそエジソンは失敗に失望しなかったのでしょうか。失敗を恐れる、あるいは失敗してしまったことで、道半ばであきらめてしまうことが多いのではないのでしょうか。しかしその考え方はエジソンにしてみれば間違いです。

失敗に対する見方を変えて、チャレンジ精神を忘れずに挑戦を続けることが大事です。その過程での失敗は子どもたちの可能性を広げる指針になるはずです。



思いやりの心をもった高取っ子に

「こころ」は だれにも見えないけれど、「こころづかい」は見える。「思い」は見えないけれど、「思いやり」はだれにでも見える。その気持ちをカタチに。

これは、東日本大震災の後、ACジャパンのCMで流された言葉です。詩人であり作詞家である宮澤章二さんの詩「行為の意味」から引用されたものです。

「行為の意味」 宮澤章二

あなたの「こころ」はどんな形ですか？ と、人に聞かれても答えようがない。

自分にも他人にも「こころ」は見えないけれど ほんとうに見えないのであろうか。

確かに「こころ」はだれにも見えない。けれど「こころづかい」は見えるのだ。

それは人に対する積極的な行為だから。

同じように胸の中の「思い」は見えない。けれど「思いやり」はだれにでも見える。

それも人に対する積極的な行為なのだから。

あたたかい心があたたかい行為になり、やさしい思いがやさしい行為になるとき、

「心」も「思い」も初めて美しく生きる。それは人が人として生きることだ。

高取小学校の子どもたちは、みんな素直で純粋な「思い」や「心」をもっています。ただ、その素敵な心は行為としていつも目に見えているのでしょうか。たった一言の言葉かけで心づかいが見えることもあります。言葉をかけることが苦手な子は、ほほ笑みかけるだけでも思いやりは伝わります。そっと手を貸す、黙ってそばにいてあげる……。小さく見える行為ですが温かな心づかいが伝わる姿です。